

神戸電鉄株式会社

インパクト評価書

2024年8月30日

インパクト分析フロー

- 下記のフローで当社グループのインパクト（環境・社会・経済に与える影響）を分析いたしました。

工程	内容
① バリューチェーン分析	事業を各工程で区切り、価値創造プロセスを整理することで、インパクト分析の下地を作ります。
② インパクトマッピング	国際標準産業分類（ISIC）を用いて、業種別の一般的なインパクトを22項目で確認します。
③ インパクトの特定	①、②、そしてヒアリング結果等からインパクトを特定し、SDGsとの関連性や社会的なニーズ等との整合を確認します。
④ 目標・KPI設定	特定したポジティブインパクトが増大、あるいはネガティブインパクトが抑制されるような目標とKPIを設定します。



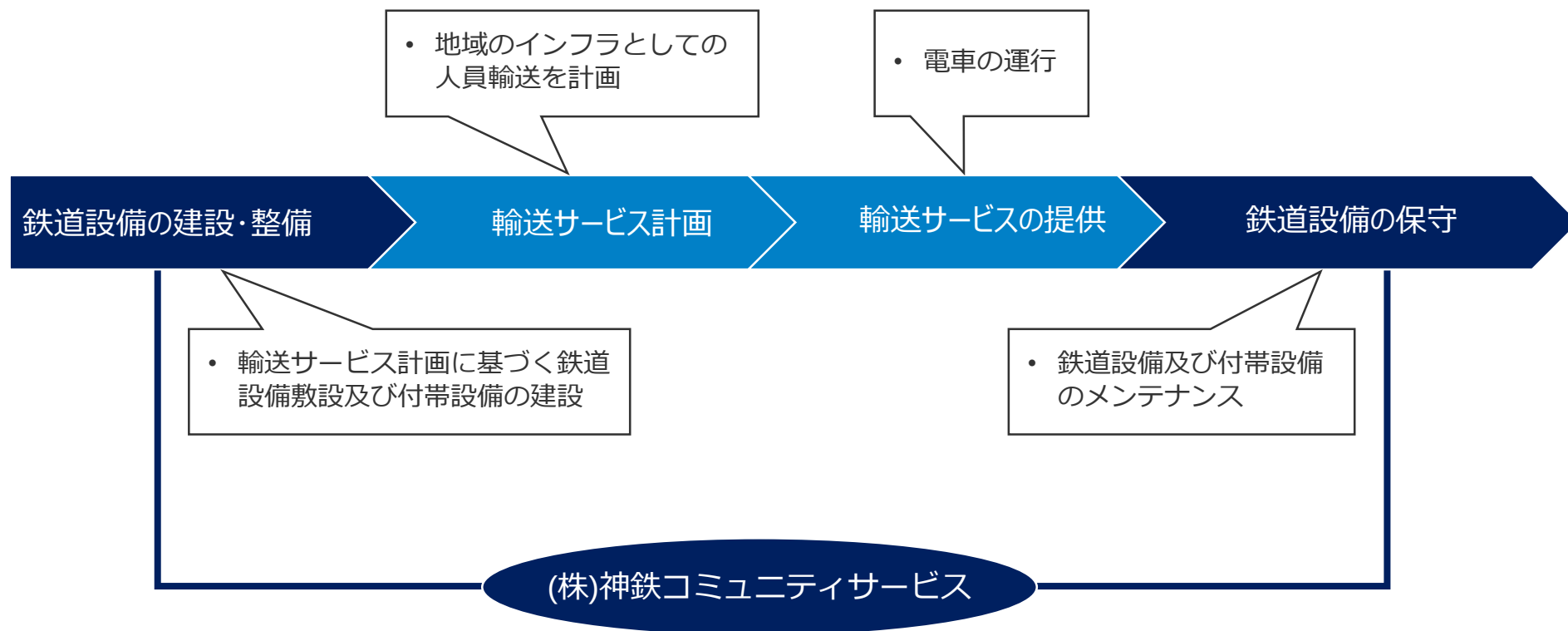
インパクトカテゴリー				
	PI	NI	PI	NI
1 水	0	0	0	0
2 食糧	0	0	0	0
3 住居	0	0	0	0
4 健康・衛生	0	0	0	0
5 教育	0	0	0	0
6 雇用	0	0	1	1
7 エネルギー	2	0	0	0
8 移動手段	0	0	0	0
9 情報	0	0	1	0
10 文化・伝統	0	2	0	0
11 人権と人の安全保障	0	0	0	0
12 正義	0	0	0	0
13 強固な制度・平和・安定	0	0	0	0
14 水（陸）	0	0	0	1
15 大気	2	0	0	1
16 土壌	0	0	0	2
17 生物多様性と生態系サービス	0	1	0	0
18 資源効率・安全性	0	1	0	2
19 気候	2	0	0	1
20 廃棄物	0	0	0	1
21 包括的で健全な経済	0	0	1	0
22 経済効率	2	0	0	0

インパクト	目標（案）	KPI（案）	関連するSDGs
気候、資源効率・安全性	・ 〇年度のGHG排出量（〇年度比）	・ GHG排出量削減率（〇年度比）	13, 14, 15
資源効率・安全性、廃棄物	・ 産業廃棄物の発生量 ・ 化学物質排出原単位	・ 〇年度 〇 t ・ 〇年度 〇 Nn/t	12, 13, 15

インパクト評価書
（当行HPにて公表）

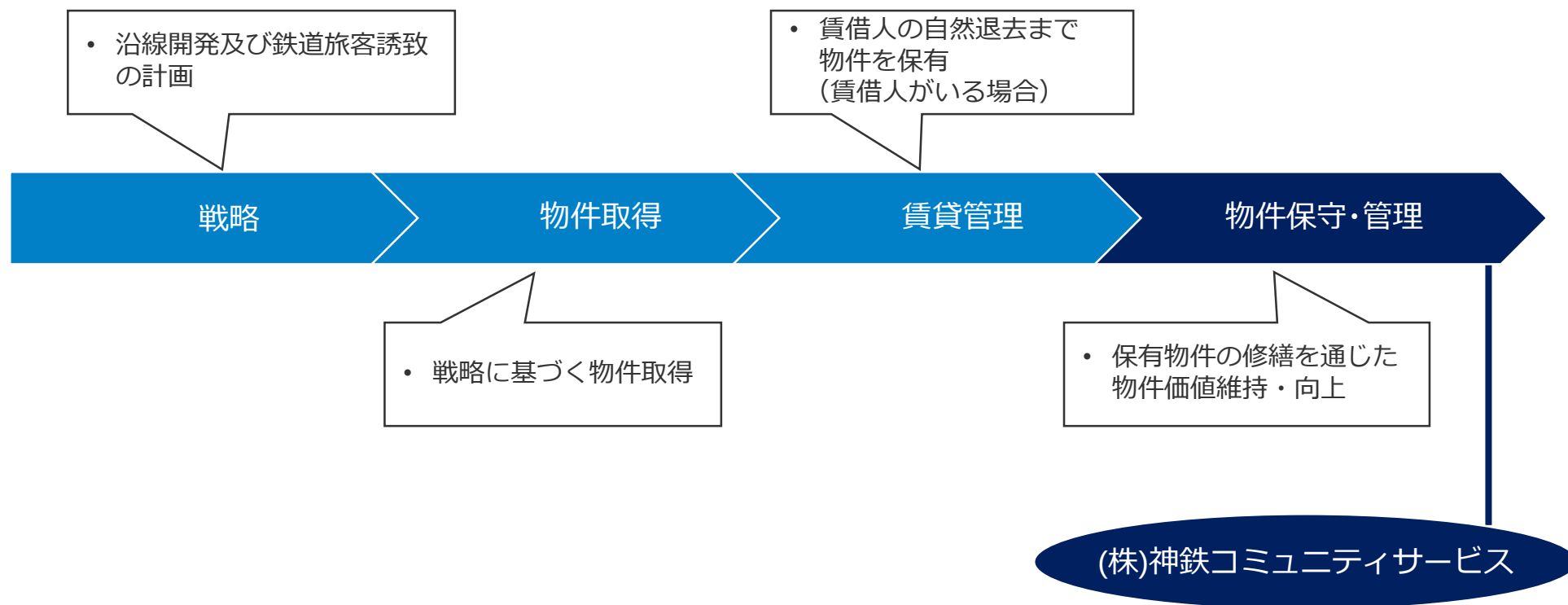
- 当社グループの事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ（バリューチェーン）について、公表資料ならびに当社へのインタビューから以下の通り特定しました

運輸業セグメント - 鉄道事業（神戸電鉄）



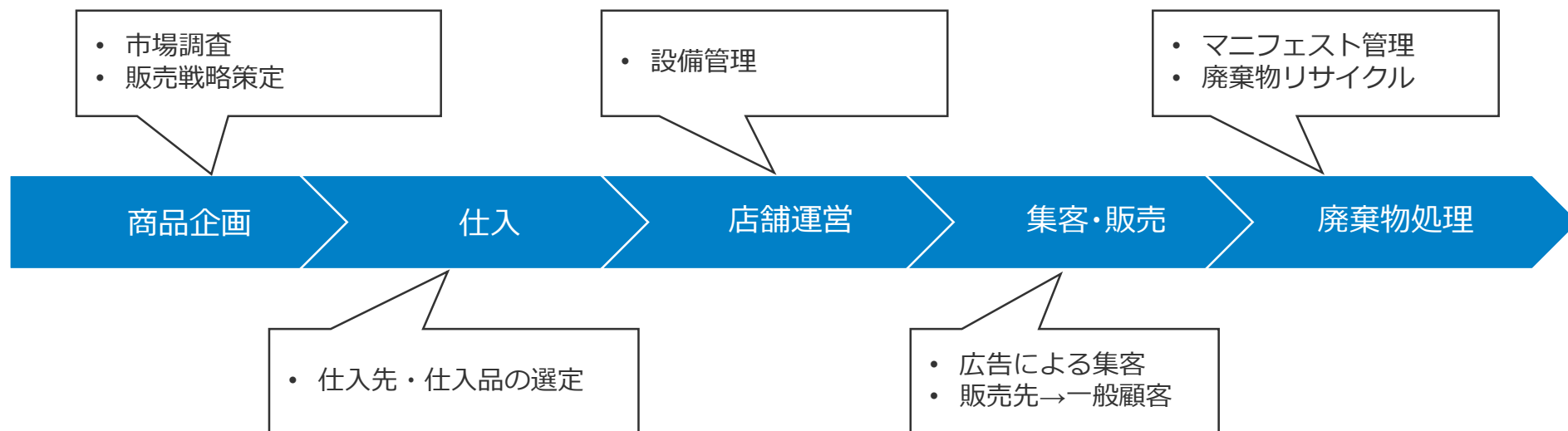
- 当社グループの事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ（バリューチェーン）について、公表資料ならびに当社へのインタビューから以下の通り特定しました

不動産業セグメント - 土地建物賃貸業（神戸電鉄）



- 当社グループの事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ（バリューチェーン）について、公表資料ならびに当社へのインタビューから以下の通り特定しました

流通業セグメント - 食品スーパー業（神鉄エンタープライズ）



- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

運輸業セグメント - 鉄道事業（神戸電鉄）

⇒ ISIC : 4911 都市間旅客鉄道運送業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 健康と安全の条件
		⑦	エネルギー	⑦	
モビリティへのアクセス	2	⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
		⑮	大気	⑮	1 汚染の可能性
		⑯	土壌	⑯	1 化石燃料を使用した場合の流出
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	1 陸地の生態系を乱す可能性
		⑱	資源効率・安全性	⑱	2 エネルギー、素材
		⑲	気候	⑲	1 化石燃料を使用した場合のGHG排出量
		⑳	廃棄物	㉑	1 古い車両や機器の廃棄
経済を支える運輸業	2	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
場所と人をつなぐことによる経済収束の促進	2	㉒	経済収束	㉒	

（凡例）PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

不動産業セグメント – 土地建物賃貸業（神戸電鉄）

⇒ **ISIC : 6810 自己所有物件または賃借物件による不動産業**

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
住居へのアクセス	1	③	住居	③	1 高価な場合、住宅へのアクセスに悪影響が出る可能性
ウェルビーイングへの貢献	1	④	健康・衛生	④	1 健康問題を引き起こす可能性
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働環境
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
文化遺産の保護と発展に貢献	1	⑩	文化・伝統	⑩	1 文化遺産の保護と発展を損なう可能性
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
		⑮	大気	⑮	
		⑯	土壌	⑯	1 潜在的な土地利用の問題（農村部）
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	1 土地の生態系を乱す可能性
		⑱	資源効率・安全性	⑱	2 エネルギーと水の消費量が多い可能性がある
		⑲	気候	⑲	2 暖房によるGHG排出
		⑳	廃棄物	⑳	1 オフィス施設で発生する廃棄物
経済活動を支える	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI : ポジティブ・インパクト、NI : ネガティブ・インパクト、2 : 影響大、1 : 影響あり、空 : 影響なし

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

流通業セグメント - 食品スーパー業（神鉄エンタープライズ）

⇒ **ISIC : 4711 食料品、飲料またはたばこが主な非専門店小売業**

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
食品へのアクセスに貢献	1	②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	1 アルコール、タバコ、不健康な食品に関連する病気
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働環境
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
		⑮	大気	⑮	
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	
		⑲	気候	⑲	
		⑳	廃棄物	⑳	
健全な経済に不可欠な小売業	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

（凡例）PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング（一覧）

	インパクトカテゴリー	鉄道事業		土地建物賃貸業		食品スーパー業	
		PI	NI	PI	NI	PI	NI
入手可能性、アクセス可能性、 手ごろさ、品質（一連の固有の 特徴がニーズを満たす程度）	① 水						
	② 食糧					1	
	③ 住居			1	1		
	④ 健康・衛生			1	1		1
	⑤ 教育						
	⑥ 雇用	1	1	1	1	1	1
	⑦ エネルギー						
	⑧ 移動手段	2					
	⑨ 情報						
	⑩ 文化・伝統			1	1		
	⑪ 人格と人の安全保障						
	⑫ 正義						
	⑬ 強固な制度・平和・安定						
質（物理的・化学的構成・性質） の有効利用	⑭ 水（質）						
	⑮ 大気		1				
	⑯ 土壌		1		1		
	⑰ 生物多様性と生態系サービス		1		1		
	⑱ 資源効率・安全性		2		2		
	⑲ 気候		1		2		
	⑳ 廃棄物		1		1		
人と社会のための経済的価値創造	㉑ 包摂的で健全な経済	2		1		1	
	㉒ 経済収束	2					

（凡例）PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

- インパクトマッピングの22項目のカテゴリとSDGsは、以下のように対応しています

		SDGs																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
インパクトカテゴリー																		
①	水						●											
②	食糧		●															
③	住居											●						
④	健康・衛生			●														
⑤	教育				●													
⑥	雇用								●									
⑦	エネルギー							●										
⑧	移動手段											●						
⑨	情報									●								
⑩	文化・伝統											●						
⑪	人格と人の安全保障										●							
⑫	正義																●	
⑬	強固な制度・平和・安定																●	
⑭	水（質）						●											
⑮	大気			●														
⑯	土壌															●		
⑰	生物多様性と生態系サービス														●	●		
⑱	資源効率・安全性							●					●					
⑲	気候													●				
⑳	廃棄物												●					
㉑	包摂的で健全な経済					●			●									
㉒	経済収束	●																●

出所：環境省「インパクトファイナンスの基本的考え方」より当行作成

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

運輸業セグメント - 鉄道事業（神戸電鉄）

⇒ **ISIC : 4911 都市間旅客鉄道運送業**

ポジティブインパクト



- ・場所と人をつなぐことによる経済収束の促進



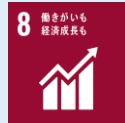
- ・モビリティへのアクセス



- ・経済を支える運輸業



- ・場所と人をつなぐことによる経済収束の促進



- ・生計の維持
- ・経済を支える運輸業

ネガティブインパクト



- ・大気汚染の可能性



- ・エネルギー、素材
- ・古い車両や機器の廃棄



- ・化石燃料の流出
- ・陸地の生態系を乱す可能性



- ・エネルギー、素材



- ・化石燃料使用時のGHGの排出量



- ・健康と安全の条件



- ・陸地の生態系を乱す可能性

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

不動産業セグメント – 土地建物賃貸業（神戸電鉄）

⇒ ISIC：6810 自己所有物件または賃借物件による不動産業

ポジティブインパクト



• ウェルビーイングへの貢献



• 住居へのアクセス
• 文化遺産の保護と発展に貢献



• 経済活動を支える



• 生計の維持
• 経済活動を支える

ネガティブインパクト



• 健康問題を引き起こす可能性



• 高価な場合、住宅へのアクセスに悪影響が出る可能性
• 文化遺産の保護と発展を損なう可能性



• 陸地の生態系を乱す可能性



• エネルギーと水の消費量が多い可能性がある



• エネルギーと水の消費量が多い可能性がある
• オフィス施設で発生する廃棄物



• 潜在的な土地利用の問題
• 陸地の生態系を乱す可能性



• 労働環境



• 暖房によるGHG排出

- ・インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

流通業セグメント - 食品スーパー業（神鉄エンタープライズ）

⇒ ISIC：4711 食料品、飲料またはたばこが主な非専門店小売業

ポジティブインパクト



- ・食品へのアクセスに貢献



- ・健全な経済に不可欠な小売業



- ・生計の維持
- ・健全な経済に不可欠な小売業

ネガティブインパクト

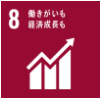


- ・アルコール、タバコ、不健康な食品に関連する病気



- ・労働環境

- 以上のような分析結果を踏まえ、インパクトマッピングにより特定されたインパクトについて、当社グループが定めるマテリアリティならびにサステナビリティ基本方針等との整合性を踏まえ、以下のように目標・KPIを設定しました。

インパクト	目標	KPI	関連するSDGs
移動手段 (PI)	鉄道事業における有責事故 ゼロの継続	鉄道事業における有責事故数	
包摂的で健全な経済 経済収束 (PI)	共創案件や観光客数の継続的な増加	共創案件や観光客数の継続的な増加 (定性目標として年次モニタリング時に確認)	   
資源効率・安全性 気候 (NI)	神鉄グループにおけるCO₂排出量 (Scope1,2) 2013年度比▲46% (2030年度時点)	神鉄グループにおけるCO₂排出量 (Scope1,2)	  

(凡例) PI : ポジティブインパクトの拡大、NI : ネガティブインパクトの抑制



ご留意いただきたい事項

- 本評価書の内容は、あおぞら銀行がその裁量により信頼できると判断した現時点で入手可能な公表資料や借入人へのヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估し作成されたものですが、あおぞら銀行は、当該情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について表明または保証するものではなく、当該情報を使用した結果について一切の責任を負いません。
- あおぞら銀行は、法律、会計、税務等の専門的資格を求められる内容に関しアドバイスをを行う立場にありません。これらの専門的内容等につきましては、独立したそれぞれの専門家にご相談願います。
- 本評価書に係る一切の権利はあおぞら銀行が保有しています。本評価書の全部または一部をあおぞら銀行に無断で複製、翻案、改変等することは禁止されています。